

平成26年度
(2014年度)

港区予算概要

一般会計
国民健康保険事業会計
後期高齢者医療会計
介護保険会計

港区

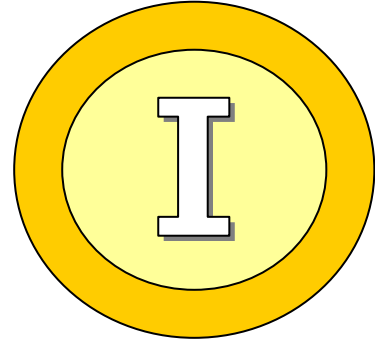
<新規・臨時・レベルアップ・職員提案の説明>

新規	平成 26 年度から新たに行う事業
臨時・新規	平成 26 年度から新たに行う臨時的な事業(※ 1)
臨時・継続	平成 25 年度以前から行っている臨時的な事業(※ 1) (※ 1)単年度又は数年度に限り臨時的に行う事業
レベルアップ	平成 25 年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業(※ 2) (※ 2)「IV-平成 26 年度の主要事業」(P. 27～55)に記載しているレベルアップ事業の所管課名、予算額及び財源内訳は、レベルアップ部分を含めた事業全体のものを記載しています。また、「V-1 所管部署別新規・臨時・レベルアップ事業一覧」(P. 58～64)に記載のレベルアップ事業の所管課名及び予算額は、レベルアップ部分を含めた事業全体のものを記載しています。
職員提案	職員提案制度による事業について記載しています。

計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計などと一致しない場合があります。

目 次

I	平成 26 年度予算の概要	1
1	平成 26 年度予算の特徴	2
2	平成 26 年度予算の全体像	4
3	平成 26 年度の重点施策	6
II	平成 26 年度予算のトピックス	13
1	港区基本計画事業の確実な実施	14
2	基金の有効活用	15
3	復興増税を活用し実施する緊急防災・減災事業	16
4	事務事業評価の実施	17
5	職員提案制度の実施	18
III	財政規模	19
1	一般会計	20
2	国民健康保険事業会計	23
3	後期高齢者医療会計	24
4	介護保険会計	25
IV	平成 26 年度の主要事業	27
1	かがやくまち	28
(1)	都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる	28
(2)	環境にやさしい都心をみなで考えつくる	34
2	にぎわうまち	37
(1)	地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる	37
(2)	港区からブランド性ある産業・文化を発信する	38
3	はぐくむまち	40
(1)	明日の港区を支える子どもたちを育む	40
(2)	生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する	47
4	実現をめざして	54
V	参考資料	57
1	所管部署別新規・臨時・レベルアップ事業一覧	58
2	新規補助金一覧	65
3	平成 26 年度開設予定施設一覧	65
4	平成 27 年 4 月 1 日開設予定保育施設等一覧	67
5	平成 26 年度予算編成方針	68



平成 26 年 度
予 算 の 概 要

1 平成 26 年度予算の特徴

平成 26 年度の一般会計予算は、25 年度に比べ、239 億円、20.6%増の 1,397 億 2,000 万円となり、一般会計予算額は、これまで最大規模の 21 年度当初の一般会計予算額である 1,323 億 2,900 万円を超える過去最大の予算額となりました。なお、3 つの特別会計予算も、給付費などの増によりすべて増額となり、一般会計とあわせた予算総額は、16.2%増の、1,813 億 9,467 万 9 千円となります。

26 年度予算は、『地域の活力と魅力を創造し、区民の誰もが安全で安心して暮らすことができる港区を実現するための予算』として、編成方針に掲げた 3 つの重点施策に沿って編成しています。

第一は「地域の活力と魅力を高めるための取組」です。地域の行政拠点として、防災機能を強化し区民の安全・安心を確保するとともに、スポーツや、健康づくりなど、区民のあらゆるライフステージに応じた施策を実現する場となる「田町駅東口北地区公共公益施設（みなとパーク芝浦）」が完成します。また、区民に身近な生涯学習施設である「麻布図書館」の改築が完了するなど、約 197 億円を計上しています。

第二は「高齢者や障害者など、誰もが安心して暮らせるための取組」です。障害者が自立して生活することができる「障害者グループホーム」の整備や、高齢者の地域活動の場である「いきいきプラザ」の改築が完了します。約 77 億円を計上しています。

第三は「子どもの笑顔があふれる健やかな成長に向けた取組」です。待機児童解消に向けた取組や周産期医療・小児医療対策の充実を図り、約 64 億円を計上しています。

その他にも、教育課程の連続性の確保による学力の向上や豊かな人間性・社会性の育成を図る「朝日中学校通学区域小中一貫教育校」が竣工します。

26 年度予算は、多くの区民が期待し、待ち望んでいる施設が完成することや、重要かつ緊急的課題へ集中的な財源配分として 192 の新規・臨時・レベルアップ事業を展開する積極予算です。そのために、基金を効果的に活用しています。

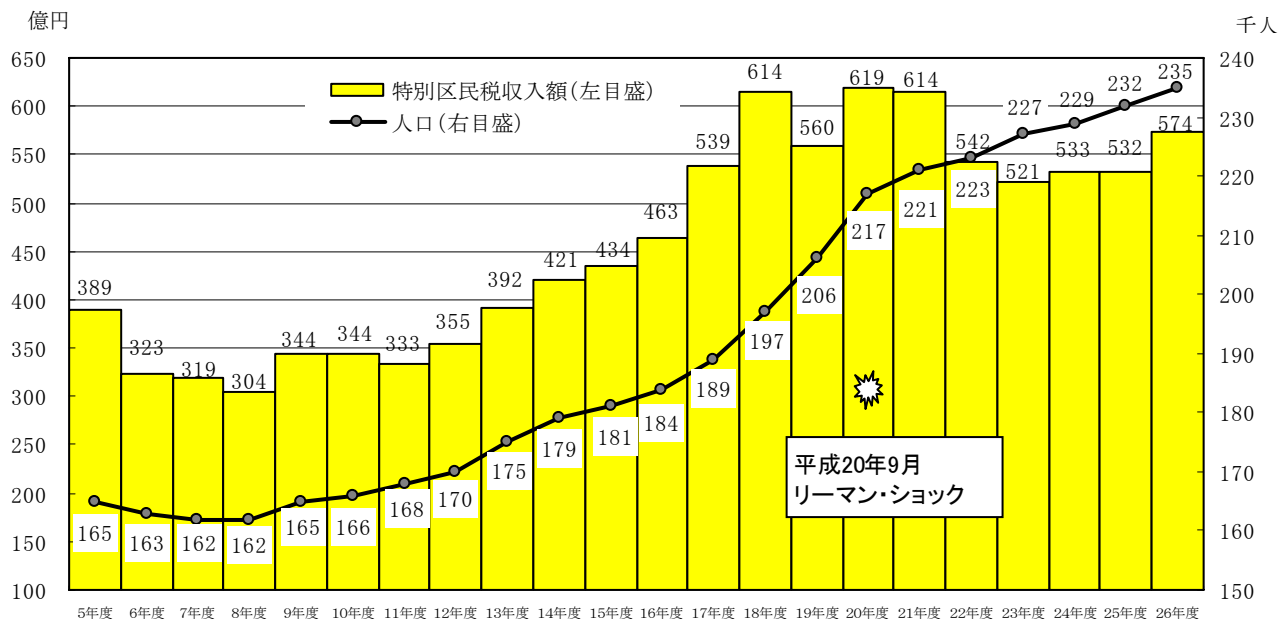
港区の人口は、平成 26 年 1 月 1 日現在で約 23 万 5 千人となり、全国的に人口が減少している中、年少、生産年齢及び老年人口いずれの世代においても増加傾向にあり、今後も増加すると推計されています。人口増加と景気の回復により、歳入の根幹を成す特別区民税収入は増収が見込まれ、26 年度予算では、25 年度当初予算と比較して 42 億円の増収を見込んでいます。また、歳出面においても、人口増加による需要や課題を的確に捉え、適切に対応していきます。

区財政は、財政の健全性を示す指標において良好な数値を示しています。引き続きその動向や、本年 4 月からの消費税率の引上げによる影響にも留意しつつ、港区財政運営方針（平成 24 年度～平成 29 年度）のもと、中・長期的視点に立った、次世代に過度な負担を残さない財政運営を展開し、あらゆる世代が将来にわたって安心できる磐石な財政基盤を堅持します。

(単位：千円、%)

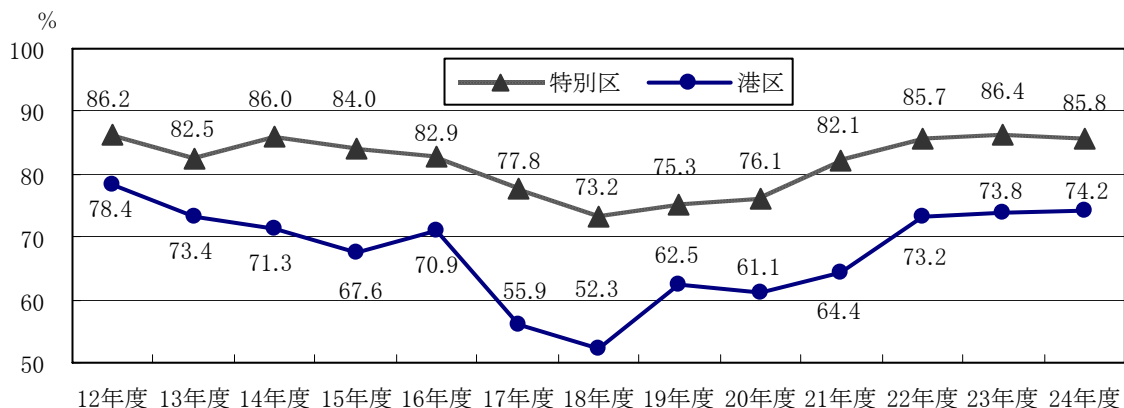
区 分	26 年 度		25 年 度		対前年度比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	139,720,000	77.0	115,850,000	74.2	23,870,000	20.6
国民健康保険事業会計	22,945,957	12.6	22,481,455	14.4	464,502	2.1
後期高齢者医療会計	4,667,918	2.6	4,415,902	2.8	252,016	5.7
介 護 保 険 会 計	14,060,804	7.8	13,353,355	8.6	707,449	5.3
合 計	181,394,679	100.0	156,100,712	100.0	25,293,967	16.2

○ 特別区民税収入と人口の推移



※特別区民税収入は、平成5～24年度は決算額、25～26年度は当初予算額です。
 ※特別区民税は、当該年度の初日が属する年の1月1日に港区に住所を有する区民が港区に納税することから、人口は各年1月1日現在数で、24年度までは、外国人登録者を、25年度からは、外国人住民を含んだ数を掲載しています。

○ 経常収支比率の推移



○ 新規・臨時・レベルアップ事業数

(単位：千円)

区分	事業数	予算額
新規	18	219,792
臨時(新規)	58	8,922,427
臨時(継続)	57	38,526,461
レベルアップ	58	6,772,319
地域事業(新規)	1	325
合計	192	54,441,324

2 平成26年度予算の全体像

平成26年度の重点施策

地域の活力と魅力を高めるための取組

196億9,208万円

区民のあらゆるライフステージに応じた施策を展開する田町駅東口北地区公共公益施設「みなとパーク芝浦」の開設や、「泳げる海お台場」を目指す活動など各地区の特性を活かした事業の実施、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を好機とした観光情報の充実、多言語化、商店街振興の推進など国際化・観光・産業振興における、地域の活力と魅力を高める取組を一層推進していきます。

高齢者や障害者など、誰もが安心して暮らせるための取組

77億1,155万円

誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう、サービス付き高齢者向け住宅や障害者グループホームなどの整備、特別養護老人ホームの増床など多様な住まいの確保や安定居住の支援を推進します。また、消費生活相談の増加に対して、相談体制の拡充や被害防止に向けた情報提供の充実など消費者被害を防止するための取組を強化します。

子どもの笑顔があふれる健やかな成長に向けた取組

63億9,457万円

待機児童数の傾向を捉えた待機児童解消に向けた保育園の整備などの子育て支援策を充実します。また、小児二次救急医療や周産期医療対応の充実などの体制や環境の整備、子どもたちが中心となる「子どもサミット」の推進や子どもに関わる関係機関が連携しながら、いじめや不登校などの未然防止や早期発見・早期解決を図る取組を強化します。

平成26年度の主要事業

1 かがやくまち

45事業 211億7,733万円

(1) 都心の活力と安全・安心・快適な暮らしを支えるまちをつくる

*道路構造物総点検 *建築物耐震改修等促進 *バリアフリー化の計画的な推進
*田町駅東口北地区公共公益施設整備等 *シティハイツ芝浦建替

(2) 環境にやさしい都心をみなで考えつくる

*生物多様性推進事業 *お台場ふるさとの海づくり *みなとタバコルール推進
*低炭素まちづくり計画策定 *みなと木育プロジェクト

28頁
参照

2 にぎわうまち

17事業 10億4,111万円

(1) 地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる

*お台場発O・MO・TE・NA・SHI *国際化推進プラン策定
*旧協働会館保存・活用事業 *区民協働推進事業

(2) 港区からブランド性ある産業・文化を発信する

*歴史観光資源の活用・促進 *観光振興事業 *区内共通商品券発行支援
*にぎわい商店街事業 *中小企業福利厚生事業

37頁
参照

3 はぐくむまち

70事業 194億7,312万円

(1) 明日の港区を支える子どもたちを育む

*麻布子ども中高生プラザ等建設 *子どもメール相談事業 *緊急暫定保育施設
*朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設 *いじめ・不登校対策事業

(2) 生涯を通じた心ゆたかで健康な都心居住を支援する

*介護予防総合センター管理運営 *障害者地域移行支援事業 *自殺対策推進事業
*介護予防普及推進事業 *発達支援センター事業 *臨時福祉給付金

40頁
参照

4 実現をめざして

12事業 37億6,824万円

*証明書自動交付事務(証明書コンビニ交付) *男女平等参画行動計画策定
*再利用可能な封筒の活用 *庁内情報機器等管理運用

54頁
参照

地域の活力と魅力を創造し、区民の誰もが安全で安心して暮らすことができる港区を実現するための予算

予算編成の基本方針

- 1 区民の日々の暮らしの基盤となる「安全で安心な地域社会」を区民とともに創りあげていきます。
- 2 港区後期基本計画に計上した事業を効果的かつ確実に実施していきます。
- 3 区民生活の実情を的確に把握した上で、参画と協働をさらに推し進め、職員提案制度も活用するなど、港区ならではの質の高い行政サービスを実現していきます。
- 4 限られた財源を重点施策へ集中的に配分するため、既存事業については、事務事業評価の結果を予算編成に確実に反映し、より効率的、効果的に事業を展開していきます。また、新規及びレベルアップ事業については、スクラップ・アンド・ビルドの原則を一層徹底し、事業の必要性・効率性・効性を見極めた上で予算化していきます。
- 5 今後のいかなる社会経済情勢等の変化にも柔軟に対応し、港区ならではの施策を将来にわたり安定的に推進していくため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、後年度負担にも十分配慮しながら、人件費の圧縮や経常的経費の節減など、不断の内部努力を徹底します。また、投資的経費である、施設建設や改修においても、区民の安全・安心の確保には、最大限留意しつつも、構想段階からライフサイクルコストを念頭に置き、費用対効果を十分に検討した上で一層のコスト削減を図るなど、最大限の努力を行います。

港区基本計画事業の確実な実施

分野別計画	◇ かがやくまち（街づくり・環境）	46 事業	87 億 8,569 万円
	◇ にぎわうまち（コミュニティ・産業）	11 事業	13 億 3,585 万円
	◇ はぐくむまち（福祉・保健・教育）	35 事業	235 億 73 万円
地区版計画書	芝地区版計画書	12 事業	4,329 万円
	麻布地区版計画書	12 事業	4,280 万円
	赤坂地区版計画書	9 事業	3,380 万円
	高輪地区版計画書	12 事業	3,893 万円
	芝浦港南地区版計画書	13 事業	3,823 万円
	◇ 実現をめざして	2 事業	32 億 2,039 万円
	計	152 事業	370 億 3,972 万円

基金の有効活用

区 分	基 金 充 当 事 業	繰入額	
財政調整基金	緊急暫定保育施設など	44億円	
特定目的基金	公共施設等整備基金	田町駅東口北地区公共公益施設整備、麻布子ども中高生プラザ等建設、西麻布いきいきプラザ等改築、麻布保育園等建設、南麻布いきいきプラザ等改築など	132億円
	教育施設整備基金	朝日中学校通学区域小中一貫教育校建設、麻布図書館等改築、南青山四丁目用地取得	94億円
	震災対策基金	夕風橋架替など	8億円
	定住促進基金	コミュニティバス運行、電線類地中化整備	7億円
	高齢者安心定住基金	特別養護老人ホーム増床支援など	3億円
その他の基金	新エネルギー・省エネルギー機器等助成事業、エレベーター更新工事、文化芸術活動サポート事業など	6億円	
合 計	—	294億円	

3 平成 26 年度の重点施策

区では、平成 26 年度予算において、『地域の活力と魅力を創造し、区民の誰もが安全で安心して暮らすことができる港区』の実現に向けて、以下の 3 つの重点施策を定め、これらの事業費として、337 億 9,820 万円を計上しました。

- 1 地域の活力と魅力を高めるための取組
- 2 高齢者や障害者など、誰もが安心して暮らせるための取組
- 3 子どもの笑顔があふれる健やかな成長に向けた取組

1 地域の活力と魅力を高めるための取組 196億9,208万円

- 田町駅東口北地区公共公益施設「みなとパーク芝浦」の開設 155 億 2,591 万円
- 平成 26 年度は、基本構想の策定段階から区民の参画を得て、整備を進めてきた田町駅東口北地区公共公益施設「みなとパーク芝浦」が、地域の行政拠点、また、スポーツを楽しむ複合施設、さらに健康づくりの新たな施設としてオープンします。
- 防災機能を強化した芝浦港南地区総合支所、スポーツセンター、消費者センター、男女平等参画センター「リーブラ」や、23 区初の介護予防総合センター「ラクっちゃ」などにおいて、区民のあらゆるライフステージに応じた施策を展開し、区民の暮らしの質の向上に努めるとともに、地域の活力と魅力を創造していきます。

みなとパーク芝浦

介護予防総合センター「ラクっちゃ」

健康でいつまでも自分らしくいきいきと暮らせることを目指し、健康づくりを支援

スポーツセンター

トレーニングパーク、プール等を設けた区内随一の総合スポーツ施設として、健康・体力づくりを支援

芝浦港南地区総合支所

ワンストップサービスを目指し、全業務を 1フロアに配置するとともに、災害対策地区本部としての機能を強化

男女平等参画センター「リーブラ」

男女平等参画の拠点施設として、専門図書を充実させ、開館時間を拡大

消費者センター

相談時間を拡大するとともに、消費者情報をより分かりやすく提供

○ **世界都心・MINATO の活力・魅力を高める戦略的な計画の策定** 3,367 万円

2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されます。開催地の中心に位置する港区には、世界からの注目が集まるとともに、多くの方の来訪が予想され、港区の魅力を世界へ発信する大きな好機となります。

観光スポット、大使館、企業等が数多く集積する日本の中心都市である港区を、世界都心・MINATO として、更に魅力的に発展させていくため、これまで取り組んできた施策をより加速化させていくとともに、時機を捉え、区の持つ可能性や潜在力をより一層引き出す取組を計画的・戦略的に実行します。

そのため、平成 26 年度は、観光、国際、産業の各分野におけるプランを重層的に策定（改定）し、活力と魅力を高める取組を一層推進していきます。

○ **地域の特色や魅力を活かした取組** 4,656 万円

区は、身近な区民サービスの拠点である総合支所を中心とし、職員がまちに出て、協働を通じて区民とともに考え行動し、地域の課題を地域で解決する地域自治の取組を実践しています。平成 26 年度は、地域住民、事業者、大学等が連携・協力して地域のコミュニティづくりを進める交流の拠点を運営する「芝地区芝の地域力再発見事業」や、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催予定地でもあるお台場の海を泳げる美しい海にする取組の一環である「お台場ふるさとの海づくり」など、各地区の特色や魅力を高めるための施策を、引き続き、積極的に行います。

また、区民などとの協働のあり方を定めた区民協働ガイドライン等に基づき、様々な地域の協働主体が、お互いの立場や特性を尊重し、相乗効果を発揮しながら地域の活力と魅力を創出する取組を推進します。

○ **その他の取組**

＜26 年度の取組事業＞

事業名	予算額
市街地再開発事業支援	24 億 9,359 万円
麻布図書館等改築	7 億 329 万円
映像広報【職員提案制度：デジタルサイネージを活用した区政情報の発信】	2 億 4,437 万円
（仮称）広尾駅自転車駐車場等整備	2 億 1,100 万円
にぎわい商店街事業	1 億 9,197 万円
旧国立保健医療科学院整備活用	1 億 2,815 万円
都市計画道路整備	1 億 334 万円
シティプロモーション推進事業	1,023 万円

2 高齢者や障害者など、誰もが安心して暮らせるための取組 77億1,155万円

○ 高齢者や障害者などの住まいの確保・支援 43億3,195万円

区では、高齢者や障害者など、誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう、多様な住まいの確保や安定居住の支援を推進しています。

平成26年度は、既存の区民向け住宅の建替えとともに、高齢者向け住宅や障害者グループホームなどの整備を進めていきます。また、木造住宅や分譲マンション等の民間建築物に対する耐震化支援、特別養護老人ホームの増床に対する支援など安心して暮らせるための取組を実施していきます。

<住まいの確保・支援に関する事業>

- ・シティハイツ芝浦建替（「障害者グループホーム芝浦」整備含む。）
- ・シティハイツ六本木建替(解体)（サービス付き高齢者向け住宅及び知的障害者グループホーム整備含む。）
- ・特別養護老人ホームありすの杜きのこ南麻布増床支援
- ・(仮称) 広尾駅自転車駐車場等整備（精神障害者グループホーム整備含む。）
- ・精神障害者グループホーム支援
- ・障害者グループホーム管理運営
- ・障害者グループホーム芝浦開設準備
- ・障害者地域移行支援事業
- ・建築物耐震改修等促進

<区が施設の整備又は整備支援を予定している住まい>

(1) 新規開設施設

開設年度	施設名	整備戸数
26年度	知的障害者グループホーム「障害者グループホーム芝浦」	5
	精神障害者グループホーム（民間）	6
28年度	精神障害者グループホーム（広尾駅自転車駐車場等併設）	6
	サービス付き高齢者向け住宅（シティハイツ六本木併設）	30
	知的障害者グループホーム（シティハイツ六本木併設）	11(※1)
	小規模多機能型居宅介護施設（高輪一丁目用地）	9
	小規模多機能型居宅介護施設（赤坂九丁目北地区市街地再開発事業）（竣工）	9
	合計	76

※1 5名と6名の2ユニットで構成

(2) 改築・改修施設

開設年度	施設名	整備戸数(※2)
26年度	シティハイツ芝浦（改築）	76(3)
27年度	特別養護老人ホーム「ありすの杜きのこ南麻布」（増床部分の改修）	118(18)
28年度	シティハイツ六本木（改築）	50(5)
	合計	244(26)

※2 整備済みの戸数を含み、()の数値は内数で改築・改修により増となる戸数

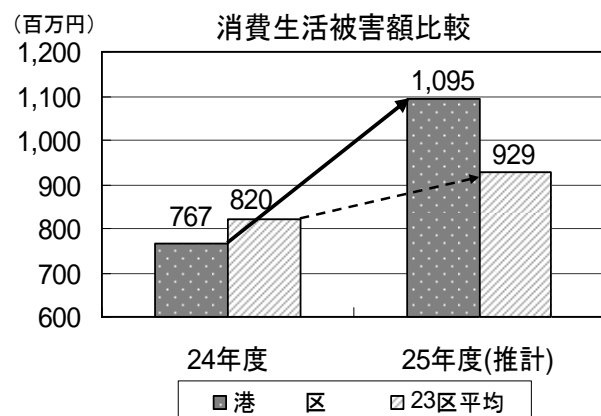
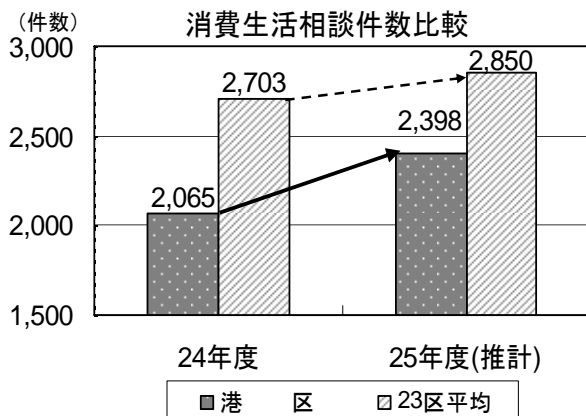
○ 消費生活被害を防止するための取組

563万円

平成 25 年度の港区における消費生活相談件数及び消費生活被害額は、24 年度から大幅に増加しています。26 年度は、被害防止に向けた注意喚起のため、新たにちいばす車内での啓発CMの放送や、23区初となる、郵便局窓口やATMコーナーにおける消費生活被害防止啓発メッセージ入り封筒の設置など、効果的な情報提供を充実させます。

また、消費者センターにおける相談時間を拡充するほか、専門分野に長けた弁護士による支援の充実により、相談員のスキルアップを図るなど、相談体制を強化します。

区は、区民の生命と財産を守るため、被害そのものを防止する取組にあわせ、被害にあわれた方のケアも充実させるなど、消費生活被害対策に迅速かつ多面的に取り組んでいきます。



○ その他の取組事業

<26 年度の取組事業>

事業名	予算額
西麻布いきいきプラザ等改築	19 億 3,771 万円
南麻布いきいきプラザ等改修	5 億 1,012 万円
災害対策本部機能代替防災拠点整備	4 億 5,303 万円
お口の健康診査	2 億 112 万円
社会福祉法人等運営助成	5,637 万円
介護予防総合センター管理運営	1 億 64 万円
重度障害児の日中一時支援事業	2,424 万円
介護予防普及推進事業	3,990 万円
発達支援センター事業	2,836 万円
防災知識普及・啓発	2,248 万円

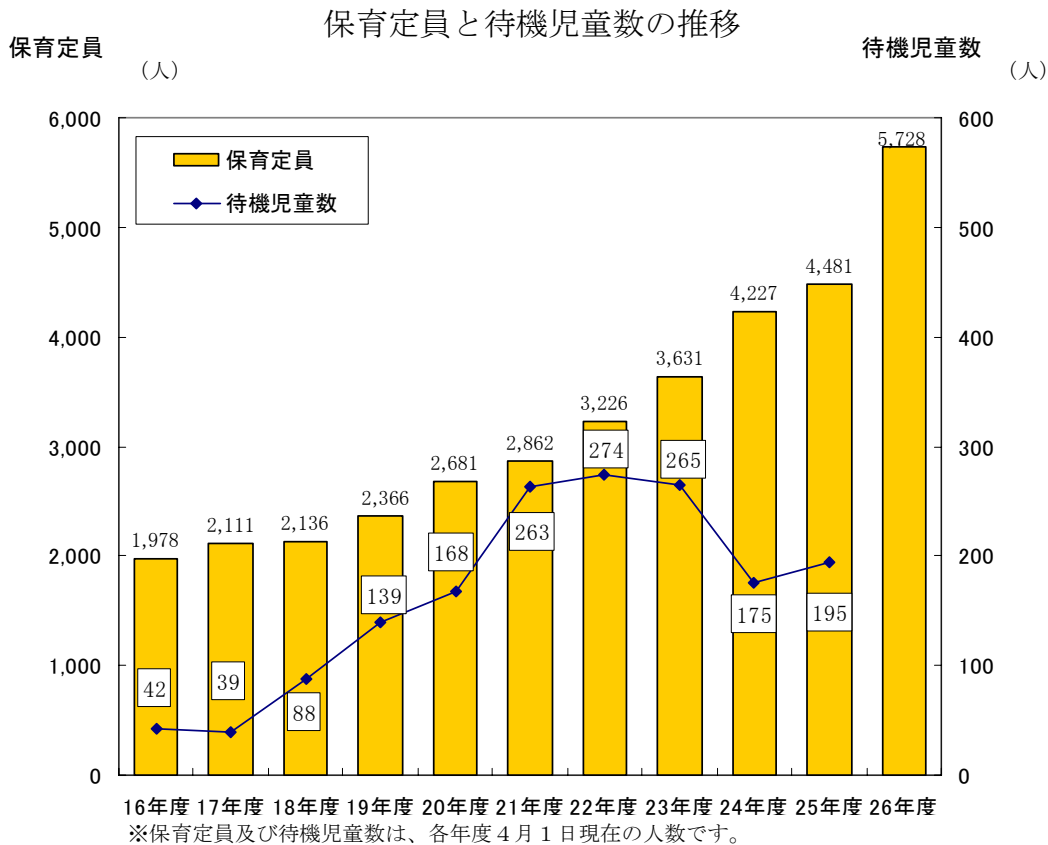
3 子どもの笑顔があふれる健やかな成長に向けた取組 63億9,457万円

○待機児童の解消

区は、保育園待機児童解消を最重要課題として捉え、新たな区立保育園の整備や改築による定員拡大、区独自の緊急暫定保育室の整備や私立認可保育園の誘致など様々な手法により保育定員の確保を図ってきました。

また、多様化する子育てニーズへ対応するため、子育てひろばや一時預かり事業の拡充など在宅子育て支援対策にも力を入れています。

待機児童数は、平成22年4月の274人をピークとして、減少傾向にあるものの、いまだ0・1歳児を中心に保育園待機児童が生じていることから、26年4月は定員を5,728名とし、定員の弾力化とあわせると1,371名の拡大を図ります。また、26年度予算でも、引き続き効果的な対策を講じるとともに、保育定員の確保に向けては、更に321名を拡大し、待機児童解消を目指し全力で取り組みます。



◆みなと保育サポート事業

開設時期	地区	施設名等	定員
26年4月	麻布	みなと保育サポート東麻布	20人程度
25年4月	芝浦港南	みなと保育サポート港南四丁目	20人
24年4月	高輪	みなと保育サポート白金	27人

※ みなと保育サポート事業は、パートタイム勤務や育児短時間勤務等利用者など保護者の多様な就業形態に応じた保育を行う事業です。

◆平成26年度における新設整備保育園等一覧

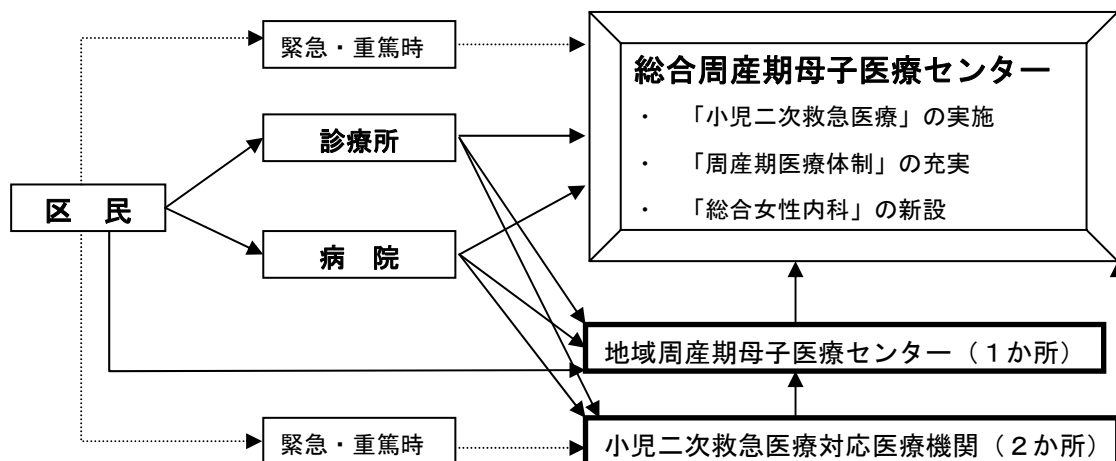
開設時期	地 区	施設名等	保育形態	整備手法	定員増数 (単位：人)
26年 4 月	芝	芝公園保育園	区立保育園	改築	47
	芝	浜松町二丁目保育室	緊急暫定保育室	新規整備	96
	高輪	志田町保育室	緊急暫定保育室	新規整備	102
	麻布	まちの保育園六本木分園	私立認可保育園	誘致	20
	麻布	太陽の子南麻布保育園	私立認可保育園	誘致	70
	赤坂	あい保育園青山一丁目	私立認可保育園	誘致	60
	赤坂	太陽の子南青山保育園	私立認可保育園	誘致	60
	芝	太陽の子三田保育園	私立認可保育園	誘致	70
	高輪	高輪夢保育園	私立認可保育園	誘致	70
	高輪	ニチイキッズ白金台保育園	私立認可保育園	誘致	70
	芝浦港南	太陽の子芝浦二丁目保育園	私立認可保育園	誘致	60
	芝浦港南	太陽の子芝浦三丁目保育園	私立認可保育園	誘致	54
26年 4 月					779
26年 9 月	麻布	本村保育園	区立保育園	改築	24
26年11月	麻布	西麻布保育園	区立保育園	改築	27
	麻布	麻布保育園	区立保育園	改築	71
27年 4 月	芝	(仮称) 芝地区保育園	私立認可保育園	誘致	60
	芝浦港南	(仮称) 芝浦港南地区保育園	私立認可保育園	誘致	60
	芝浦港南	(仮称) 芝浦港南地区保育園	私立認可保育園	誘致	60
	芝浦港南	(仮称) 芝浦港南地区保育園	私立認可保育園	誘致	60
	定員変更及び閉園などによる減				
26年度定員増					321

○周産期医療・小児医療体制の充実

全国的に少子化が進行する中、区の年少人口は増加しています。特に出生数は急増しており、平成24年では10年前と比べてほぼ倍の約2,600人となっています。港区生まれの子ども達の活躍が大いに期待されます。一方で、高齢出産が増加しており、出産リスクも高まっています。

平成26年度には、区が誘致した総合周産期母子医療センター機能を有する新病院が田町駅東口北地区に完成します。総合周産期母子医療センター機能を有する病院を中心に、地域の病院や診療所との協力・連携により、医療資源を十分活用した周産期医療・小児医療の取り組みを推進し、区民が安全に、安心して子どもを産み、健やかに育て、健康を保持・増進することができるよう、母子保健、子育て環境の充実を図ります。

<周産期医療・小児医療連携>

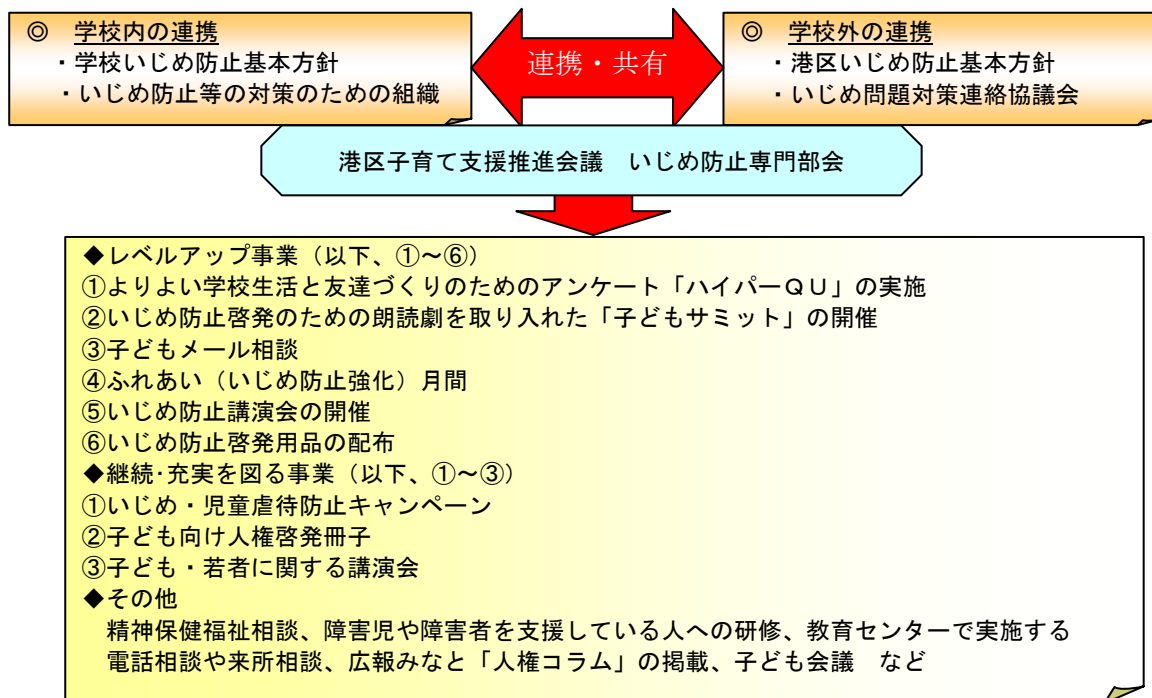


○いじめ・不登校対策等子どもの人権に配慮した取組

平成 25 年 9 月に施行された「いじめ防止対策推進法」を受け、区においても、教育委員会と区長部局が連携した組織である「子育て支援推進会議いじめ防止専門部会」を設置し、いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期解決を図るための対策を講じています。

26 年度は、いじめ防止等の対策のための組織を各小中学校と区に新たに設置するほか、子どもサミット（子どもたちが上演する朗読劇を取り入れた取組）、いじめ防止問題に関する講演会の開催、子どもメール相談の運用等、引き続きいじめ防止に積極的に取り組んでいきます。

また、子どもたちが 24 年 12 月につくりあげた「港いじめ防止子ども宣言」をもとに、いじめ対策等について、子どもにかかわる関係機関が連携しながら、子どもが健やかに成長できるような環境を整備していきます。



<26 年度の取組事業>

事業名	予算額
緊急暫定保育施設	27 億 1,640 万円
（社福）恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院建設支援	16 億 6,980 万円
私立認可保育所設置支援事業	6 億 2,968 万円
麻布保育園等建設	6 億 1,403 万円
（仮称）田町駅東口北地区保育園整備	3 億 9,952 万円
子育てひろば等事業	2 億 2,725 万円
みなと保育サポート事業	1 億 1,669 万円
いじめ・不登校対策事業	1,058 万円
子どもメール相談事業	1,037 万円
周産期医療・小児医療連携協議会	25 万円